

日本産業保健法学会 第4回学術大会のご案内（第2報）

第4回学術大会では統一テーマ「産業保健格差と法～時代を跨いだバックランナー対策を考える～」のもとプログラムを企画し、わが国の産業保健における格差課題を理解し、法の視点から総合的に再検討を行い、とるべき諸方策について参加者の皆様と一緒に考える機会になることを願い鋭意準備を進めています。

■開催方式：ハイブリッド開催（現地開催・ライブ配信・オンデマンド配信）

（会場：大田区産業プラザ PiO 〒144-0035 東京都大田区南蒲田1丁目20-20）

■会期：ライブ配信（現地） 2024年9月21日（土）・22日（日）

オンデマンド配信 2024年10月1日（火）～31日（木）

■統一テーマ：産業保健格差と法～時代を跨いだバックランナー対策を考える～

■大会長：吉田 肇（弁護士法人天満法律事務所 所長・弁護士、元京都大学法科大学院客員教授）

副大会長：山田 省三（東京弁護士会、中央大学名誉教授）

事務局長：神田橋 宏治（合同会社 DB-See 代表・産業医）

■参加費：一次登録 5月13日（月）9時～9月4日（水）23時59分：会員8,000円、非会員10,000円、学生3,000円

二次登録 9月5日（木）9時～10月28日（月）15時：会員10,000円、非会員12,000円、学生3,000円

■内容：

1) 講演

中小企業の産業保健と法 ～多様化する健康課題と産業保健の課題をどう解決するかを産業保健法の現場から考える／労働行政の動向／

2) シンポジウム

中小企業の産業保健と法 ～現状と展望・解決策の模索／大都市と地方都市／大企業と中小企業における労働環境の格差と産業保健の課題／働き方改革：産業医・産業保健機能の強化の現状と課題／これからの労働時間法制のあり方と健康確保 -労働のオンとオフの境界線／安全配慮義務と職場のメンタルヘルスに関する現代的課題／リモートワーク（テレワーク）の産業保健法上の課題／副業・兼業における健康管理と法／ 疾病・障害の自己理解と配慮義務の職場認識とのギャップを考える／治療と仕事の両立支援の課題と法／新しい化学物質管理と事業者責任

3) その他のプログラム

連携学会シンポジウム6、模擬裁判、事例検討、特別企画4、昼セミナー、特別講和・対談、一般演題

■取得可能単位：日本産業保健法学会 メンタルヘルス法務主任者／産業保健法務主任者資格 5単位

日本医師会認定産業医制度 生涯研修（更新1単位、専門2単位）

日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度 研修単位

■参加登録：大会 Web サイト（<https://jaohl.info/>）よりご登録ください。

■大会参加申込および大会に関する問合せ先

日本産業保健法学会第4回学術大会事務局

Mail : jaohltaikai.information@gmail.com

